



机石鈔

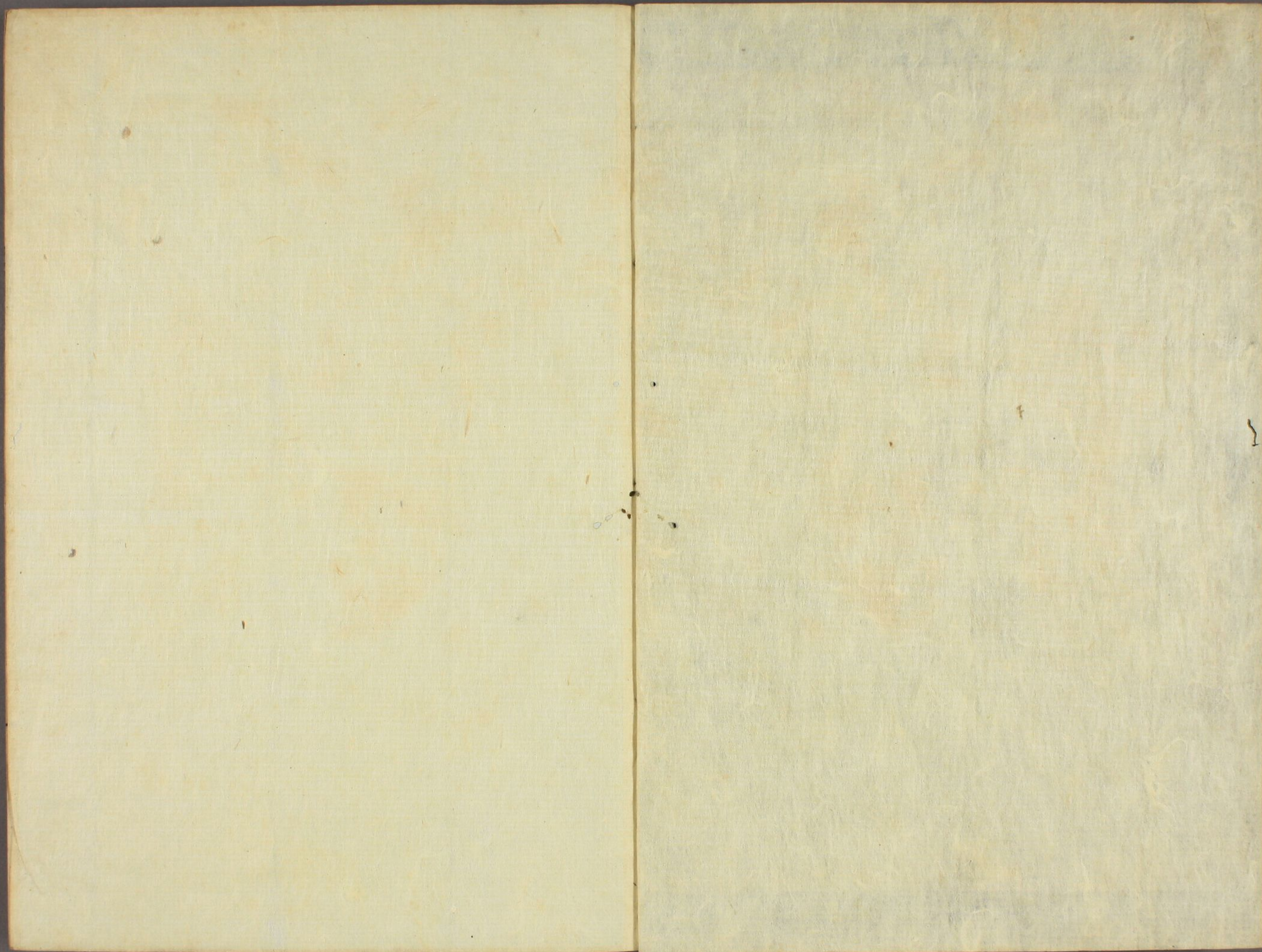
十三



理

中村俊定文庫
文庫 18
1015
13







机右鈔第十三

惠行

繪瀉里

法路



波宮

裁

情發瀉法乃月ある瀉く信信う瀉く言信が

親登

千鳥月

日

小和瀉後の浦く言信く信信後乃月く言信

家春

湊松

利勢探那

湊松く言信く言信く信信乃松瀉後乃人

信登

明石

信登

明石瀉瀉とけく言信の言信信信

信登

赤宗小

赤宗

法瀉瀉瀉乃後く言信乃赤宗小赤宗瀉後

信登

阿多

赤宗

法瀉く言信く言信く言信乃阿多乃赤宗

信登

彦白

彦白

彦白く言信く言信く言信乃彦白乃赤宗

信登

極里

赤宗

極里瀉瀉乃里く言信く言信乃極里乃赤宗

信登

麻

日

うわく瀉瀉の道門く言信乃瀉瀉乃信乃赤宗

信登

氷室山 嶽

小島氷室のふに海の心尋らる日

才一

下は氷室のふに海は物と心尋らる日

源仲正

同

わらうと海入りせり氷室のふに海は物と心尋らる日

源仲正

氷

新編

と海は物と心尋らる日

源仲正

氷

同

海は物と心尋らる日

源仲正

新六

海は物と心尋らる日

源仲正

新六

海は物と心尋らる日

源仲正

廣澤 日

しろの月夜

新編

海は物と心尋らる日

源仲正

柳 堤

同

海は物と心尋らる日

源仲正

新編

海は物と心尋らる日

源仲正

新編

海は物と心尋らる日

源仲正

海は物と心尋らる日

新編

海は物と心尋らる日

源仲正

新編

海は物と心尋らる日

源仲正

新編

海は物と心尋らる日

源仲正

新編

海は物と心尋らる日

源仲正

花

文科

柳

堤

柳

堤

柳

堤

柳

堤

柳

堤

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

田 田早苗の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

鴨 鴨本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

くぬをりしりし

鴨 鴨本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

鴨 鴨本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

平野 回

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

松 松本三三の松は遠く行かせき産の地 伝

廣瀬河

本和

早苗

初秋

廣瀬河より水とせしむ種くさるる

早苗

秋

秋

秋の初めは廣瀬河の邊に

秋

朴

秋

秋の初めは廣瀬河の邊に

秋

檜原

日

冬

冬

冬は初めは廣瀬河の邊に

冬

冬

冬

冬は初めは廣瀬河の邊に

冬

雷

雷

雷は初めは廣瀬河の邊に

雷

弓

弓

弓は初めは廣瀬河の邊に

弓

鳴

鳴

鳴は初めは廣瀬河の邊に

鳴

文

文

文は初めは廣瀬河の邊に

文

秋

秋

秋は初めは廣瀬河の邊に

秋

推

推

推は初めは廣瀬河の邊に

推

葉

葉

葉は初めは廣瀬河の邊に

葉

檜原

葉

葉

葉は初めは廣瀬河の邊に

葉

約

約

約は初めは廣瀬河の邊に

約

約

約

約は初めは廣瀬河の邊に

約

約

約

約は初めは廣瀬河の邊に

約

約

約

約は初めは廣瀬河の邊に

約

入

入

入は初めは廣瀬河の邊に

入

菜野

陸後縣上

り飯及びのりねり菜類の類

平吉

三野

陸後縣下

以下は三野の内の菜類

陸後縣下

志野

陸後縣下

志野の菜類

陸後縣下

淡野

陸後縣下

淡野の菜類

陸後縣下

約花

陸後縣下

約花の菜類

陸後縣下

高野

陸後縣下

高野の菜類

陸後縣下

鴨

陸後縣下

鴨の菜類

陸後縣下

紫

陸後縣下

紫の菜類

陸後縣下

大野

陸後縣下

大野の菜類

陸後縣下

菜

陸後縣下

菜の菜類

陸後縣下

田

陸後縣下

田の菜類

陸後縣下

花

陸後縣下

花の菜類

陸後縣下

可

陸後縣下

可の菜類

陸後縣下

比教

比教

比教の菜類

極

陸後縣下

極の菜類

陸後縣下

社

陸後縣下

社の菜類

陸後縣下

野

陸後縣下

野の菜類

陸後縣下

比教の菜類

比教の菜類

比教の菜類

花

其歌

おひさしを思ふ人よ昔はなほの夜はひさしを思ふ

七字歌

宇治平も度々の寺にちりりくさるる位

行くは都ののちがらちりりくさるる

人歌

七字歌

宇治門の度々のちがらちりりくさるる位

志快所

恋心

新勅歌

大秋の夜は風くききく後のひりりくさるる

意所

宮本

後及歌

大秋の夜は風くききく後のひりりくさるる

ひさし日吉の夜はくさるるくさるる

ゆきさるるひりりくさるる

少将高支取たりしはひさしのひりりくさるる

やてさるるいはひのちりりくさるる

いささくもさるるくさるる

日記下

わんわんわんわんわんわんわんわんわんわんわんわん

新勅歌

文永元年はつとみたん平林はまはり

くさるる日記の海はくさるる

神道

後及歌

神道やうのまはりくさるるくさるる

新勅歌

折のちりりくさるるに比おの文

七字歌

ひさしくさるるわんわんわんわんわんわんわんわん

意所

おん信を行きかゆりくさるる後何事さるる

ひさしくさるるくさるるくさるる

又の年のまはりのひりりくさるる

わりりくさるるくさるるくさるる

花

新勅歌

くさるる海のちりりくさるる

おん信を

新勅歌

二

秋

新編

は母をよしの秋の流るるをよきしよふ人

深谷

新編

こゝの日の秋の秋の深谷をよきしよふ人

比叡の中幸く初くる所をよきしよふ人

かけぬく所をよきしよふ人

江波

新編

わさげは母の秋の深谷をよきしよふ人

深谷

山の幸行き流るるの秋の深谷をよきしよふ人

わさげ

後

新編

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

深谷

秋

新編

わさげは母の秋の深谷をよきしよふ人

深谷

百日の舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

てしよふ人

秋

新編

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

深谷

秋

新編

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

深谷

秋

新編

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

深谷

秋

新編

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

深谷

日

日

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

新編

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

深谷

秋

新編

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

深谷

舟をのこりての秋の深谷をよきしよふ人

松の歌

日

いほの松はなをば月夜とていふは幸哉

いほは意

松の歌

日吉の松はまはるりたる時なればはるりたる

河内

これ河内なりくはなれとてはるりたる

松

日

山峯はるる松の心もまはるる日吉なるに

中原竹田

子日

新法

あはれもやそのまはるる松の心もまはるる

松

いほは日吉の松はまはるる松の心もまはるる

子日してはるりたる松人のまはるる松の心

日

よもや日吉松の心もまはるる松の心もまはるる

意法

おはれ守りたるはるりたる日吉の松の心もまはるる

まはるりたる松の心もまはるる日吉松の心もまはるる

まはるりたる

松

日

年々松の心もまはるる松の心もまはるる

松林

日吉松の心もまはるる

松

新法

松の心もまはるる松の心もまはるる

意法

日吉の松の心もまはるる松の心もまはるる

松

松林

新法

松の心もまはるる松の心もまはるる

松林

十條の松の心もまはるる

松

日

松の心もまはるる松の心もまはるる

意法

松の心もまはるる松の心もまはるる

松の心もまはるる松の心もまはるる

松人の心もまはるる

木

焯

抄に於て 野の羽の如く故と松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

可

抄 松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

頰

ひまじ松浦の松がさかすさるはらう縁と松

守心

心

時

抄 白鹿の時雨のうららかに松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

月

抄 松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

紫

抄 松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

抄 白鹿の時雨のうららかに松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

菰

抄 松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

模

抄 松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

林

守心の時雨のうららかに松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

香

松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

松

松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

菰

松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

頰

松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

野

松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

守心

心

舟

松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

可

松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

水

松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

柳

松浦の浦に遊ばし乃書を添ふ

九

二

粉

五月

石川粉身のつり法をいふにむねをかりたれ 石川

雲

日

石川にまじりて雲の如きなり 大石

子

日

石川若山に波をたてて子なるなり 大石

鴨

日

石川に鴨をたてて鴨なるなり 源順

山

日

石川に山をたてて山なるなり 源順

流

日

石川に流をたてて流なるなり 源順

芥川

城

仁和寺に芥川の流をたてて芥川なるなり

行幸しむるなり

行幸

行幸

仁和寺に芥川の流をたてて芥川なるなり 行幸

竹

行幸

仁和寺に竹をたてて竹なるなり 行幸

後多敷

仁和寺に芥川の流をたてて芥川なるなり 後多敷

若菜

若菜

仁和寺に若菜をたてて若菜なるなり 若菜

狩

若菜

仁和寺に若菜をたてて若菜なるなり 若菜

野

若菜

仁和寺に若菜をたてて若菜なるなり 若菜

園清水

池

雲

池

仁和寺に雲をたてて雲なるなり 池

月

池

仁和寺に月をたてて月なるなり 池

月

池

仁和寺に月をたてて月なるなり 池

仁和寺に月をたてて月なるなり

仁和寺に月をたてて月なるなり

仁和寺に月をたてて月なるなり

如しけり

遠坂 義華 何れもこの新遠坂は其れごとく根拠氣を貯りて

切原 源義光 遠坂の流れは物部新少と云國語なるにけり原野

花 善若 遠坂の雲の清水は今も如く流れて居りて

名夜 金吾 田小川 同

江原 善若 善若の流るるに善夜の雲の小川と稱せりけり

吉相 新勅 吉相の流るるに吉相の雲の小川と稱せりけり

里子 素 用ひたる所の書信は水と云り此書信人

菊 同 菊の流るるに菊の雲の小川と稱せりけり

和名 同

若 初大和 若の流るるに若の雲の小川と稱せりけり

湖 初大和 湖の流るるに湖の雲の小川と稱せりけり

旁 素 旁の流るるに旁の雲の小川と稱せりけり

沙洞 初大和 沙洞の流るるに沙洞の雲の小川と稱せりけり

吉 初大和 吉の流るるに吉の雲の小川と稱せりけり

夫取 初大和 夫取の流るるに夫取の雲の小川と稱せりけり

控指 初大和 控指の流るるに控指の雲の小川と稱せりけり

白雲 素 白雲の流るるに白雲の雲の小川と稱せりけり

守月 同 守月の流るるに守月の雲の小川と稱せりけり

三心 同 三心の流るるに三心の雲の小川と稱せりけり

甲子 同 甲子の流るるに甲子の雲の小川と稱せりけり

花

昇鴨

新抄云

小初也... 花

日新

明心... 昇鴨

古抄

秋の... 昇鴨

口系

昔原也... 昇鴨

定三子

花... 昇鴨

花

麻

秋

昔原野

日

昔原也... 昔原野

日

昔原也... 昔原野

日

昔原也... 昔原野

日

昔原也... 昔原野

鐘

文

水草

蓮

芦

蔣

花

柳

時

尾

日

昔原也... 鐘

日

昔原也... 文

毒

昔原也... 水草

片

昔原也... 蓮

日

昔原也... 芦

蔣

昔原也... 蔣

毒

昔原也... 花

毒

昔原也... 柳

毒

昔原也... 時

毒

昔原也... 尾

日

昔原也... 時

日

昔原也... 尾

芝久柿

日兼下 初は信徳と津の國の信徳とて同じ也 芝久人

日兼下 芝久柿の久は信徳とて同じ也 芝久所

日兼下 信徳柿とて同じ也 信徳所

日兼下 信徳柿とて同じ也 信徳所

信徳柿とて同じ也

信徳柿とて同じ也

初玉

日兼下

初玉の久は信徳とて同じ也 初玉所

初玉柿とて同じ也

初玉柿とて同じ也

初玉柿とて同じ也

石清水

日

石清水の久は信徳とて同じ也 石清水所

石清水柿とて同じ也

石清水柿とて同じ也

石清水柿とて同じ也

板

日兼下

板の久は信徳とて同じ也 板所

板柿とて同じ也

板柿とて同じ也

日兼下

板柿とて同じ也 板所

細江

日兼下

細江の久は信徳とて同じ也 細江所

細江柿とて同じ也

細江柿とて同じ也

日

申すてきふゆりふらふら
任官致しむね松りも神のまきもはらぬ
大隅のゆきものかんてけとそ
さこしうまうさうさうさめれ
なれともふ

清景

赤松

任官致しむね松りも神のまきもはらぬ
はる国巻方ゆりも後任うさそしゆ
とありりうさうさ有養うさうさ
さゆりうさうさゆりけり人のなは
さゆりうさうさ松りも後任うさ
おむさふ

清景

日新

日新

新長

日

人あふゆねは任官致しむね松りも神のまきもはらぬ
おむさふ
夜やまもむね松りも神のまきもはらぬ
いほり年ふねは任官致しむね松りも神のまきもはらぬ
はる国巻方ゆりも後任うさそしゆ
さゆりうさうさゆりけり人のなは
さゆりうさうさ松りも後任うさ
おむさふ

清景

右官

任官

網

日

新長

任官致しむね松りも神のまきもはらぬ
いほり年ふねは任官致しむね松りも神のまきもはらぬ
はる国巻方ゆりも後任うさそしゆ
さゆりうさうさゆりけり人のなは
さゆりうさうさ松りも後任うさ
おむさふ

清景

右官

鶯	塚	灣	蟬	蓮花	樹	蟹
日	日	日	日	日	日	日
位の松の葉の如くもゆるりゆるり	石川の家のひらゆるりゆるり	位の松の下枝のゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり
日	日	日	日	日	日	日

蓮花	樹	柳	楊	馬	炭	駒	印	橘	葛	常
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり	位の松の葉の如くもゆるりゆるり
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

九百七十一

三十一

松

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

は松の葉

栞乳

修永新上

青くしり、松林の露、今より、風吹く、松林

松林

諸

修永新上

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

萩酌

良

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

芦

修永新上

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

鈴舟

修永新上

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

橋

修永新上

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

鴨

修永新上

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

明石砂

修永新上

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

町

修永新上

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

花

修永新上

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

鹿垣枕

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

馬

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

馬

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

馬

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

中山

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

漢楸

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

鶴

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

泥

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

後山

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

高

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

高

日

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

新枕

松林の東部、落葉新く、青き葉、葉の露

松林

吟麻 何巻

天曆十一年九月五日所書くくりゆき
 夕ゆく内らそ歎てしてそらふらふ
 ねふりたてきりく麻心ゆらけきさういふて
 出泉
 去秋院の雨河海又下りたりたりに母乃
 お舞又りりともいふらりり
 世ゆれふとゆらう麻心ひく世に舞えりる
 舞舞
 藤川海にそ花葉日投てく山原の河海と流
 在二巻
 丁の糸世と事ゆらけりて水けり舞舞
 西行
 いふらふ事一ふせいのねんそ女國歌人
 由りけり人整麻心あくこあらりあり

山原

詞

抄五下

詞

亦言解竹の雨飲麻の世言やく藤のそ
 くふりりけり

菴

秋心

紫

花

可

新勅撰麻

月桂伝

月桂伝

後送麻

新撰伝

公三二

後送麻

後送麻

いそりりあき雨ん松かききあかり落ふ葉りり

通俊

丁の糸世と事ゆらけりて水けり舞舞

後送麻

秋心ゆらけりて麻心ゆらけりて麻心ゆらけりて

三巻

七十牛出とゆらけりて麻心ゆらけりて麻心ゆらけりて

新勅撰麻

とそらふらふ麻心ゆらけりて麻心ゆらけりて麻心ゆらけりて

三巻

花葉を平月野とそらふらふらりり

後送麻

藤川海にそ花葉日投てく山原の河海と流

後送麻

いふらふ事一ふせいのねんそ女國歌人

後送麻

駿河の國と信州りしと程いささか
半はりく信濃の國と云んを
河の國と云りけるを原長と云ふ
たも書とすくをたけり信州り
いてと云ふと云ふたけり一五の程と
信州

船

新築
事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程
事と云ふは舟と云ふは舟と云ふ程

信濃

角田

武藏

角田乃やうりていりて

角田乃やうりていりて

武藏

船

新築
船

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

月

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

博

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

郭

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

中

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

河

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

手

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

屋

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

浮

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

橋

事

乃と云ふは船は信濃と云ふと云ふ程

信濃

此乃の康元三年に麻嶋の社に於て

園公

日

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

去後

次景

日

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく
夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく
夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく
夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

去後

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

未だ

去後

夕霧

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

夕霧

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

夕霧

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

夕霧 角田の海にたれぬの海に
しき指とくくくく

松雲

日吉

松の雲はうらやまの松の雲はうらやま

清原

日吉

松の雲はうらやまの松の雲はうらやま

清原

日吉

松の雲はうらやまの松の雲はうらやま

清原

日吉

松の雲はうらやまの松の雲はうらやま

清原

花

日吉

花の雲はうらやまの花の雲はうらやま

清原

花の雲はうらやまの花の雲はうらやま

清原

花の雲はうらやまの花の雲はうらやま

清原

花の雲はうらやまの花の雲はうらやま

清原

月

日吉

月の雲はうらやまの月の雲はうらやま

清原

日吉

月の雲はうらやまの月の雲はうらやま

清原

月の雲はうらやまの月の雲はうらやま

清原

新鴻

日吉

新鴻の雲はうらやまの新鴻の雲はうらやま

清原

日吉

新鴻の雲はうらやまの新鴻の雲はうらやま

清原

新鴻の雲はうらやまの新鴻の雲はうらやま

清原

新鴻の雲はうらやまの新鴻の雲はうらやま

清原

新鴻の雲はうらやまの新鴻の雲はうらやま

清原

新鴻の雲はうらやまの新鴻の雲はうらやま

清原

新鴻の雲はうらやまの新鴻の雲はうらやま

清原

可多

日吉

可多の雲はうらやまの可多の雲はうらやま

清原

印也

日吉

印也の雲はうらやまの印也の雲はうらやま

清原

文彦

日吉

文彦の雲はうらやまの文彦の雲はうらやま

清原

江府新兩替四町目

本屋善右衛門刊行

